



はるみっこ通信

R5・春号



子ども達の好きな遊びの一つにごっこ遊びがあります。

1歳を過ぎたころから、コップを握って乾杯!!手を合わせて「いただきます」「ごちそうさまでした」とおままごとの場面に合わせて声が聞こえてきます。日頃の生活を再現している様子は今の育ちや子どもの文化を知ることが出来とても面白いですね。

身近なお母さんの真似っこ。エプロンをつけ献立を悩んだり、包丁で切る、並べる、お鍋に入れる、混ぜる、色合いを考える、作ったものを食べてもらったり、美味しいと言われることが嬉しいという気持ちを知る子も。

赤ちゃんのお世話ごっこでは、赤ちゃんは優しく大切に触れること、ミルクをあげたりおむつを替えること。赤ちゃんが泣くと抱っこをしたり、「いないいないばあ」をすることを教えてくれます。

料理や掃除、買い物、私たち大人の挨拶をしている姿、電話で話をしている姿、自転車や車を運転している姿などそうしたひとつひとつが子どもたちの目に映り、豊かな遊びになっていくんですね。



すくって、摘まんで、挟んでと遊びを通して手指の動きも豊かになりますね。



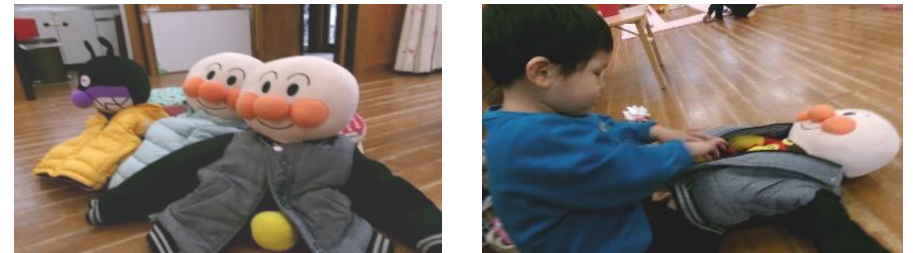
幼児になるとお寿司屋さん、魚屋さんに焼き鳥屋さんとさらにイメージを膨らませて役になりきり、ごっこ遊びの世界を味わっています。



お友達とご馳走を並べて机を囲んだり、ベビーカーに赤ちゃんを乗せてお散歩へ♪



保育園ごっこでお昼寝をしたり、ピクニックや本屋さんにお買い物に出かけました♪



ある寒い日…お部屋にいたアンパンマン達が寒そうな姿を心配して自分の上着を着させてくれる場面です。腕を通してボタンやチャックもしめてくれました。思いやりの心が素敵ですね。

